

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



マツケンサンバ～オ・レ！

2008年
10
月号



目次

- 一泊旅行報告 2
- 高浜まつり、実習所報告 4
- 学習会報告 5
- 虫めがね 6
- 研修のご案内 8
- 価格改定のお知らせ 9
- 太田稔さん連載 10
- 小野塚さん連載 11
- カレンダー販売のお知らせ . . . 12
- 北京オリンピックの感想 . . . 14
- 夕会、寄付、
区民まつり告知 15
- 編集後記、スケジュール . . . 16



旅行初参加！！ 明学生さんの感想



わくわくドキドキで不安がいっぱいな旅行でしたが、メンバーさんともいっぱい話せてとても楽しかったです。特に一日目の夜の宴会では、歌を歌わなければいけないとのことで、とても緊張して音も結構はずしてしまっただけですが、皆さん拍手してくださり、とてもうれしかったです。その後の盛り上がり方も凄く、全員で楽しめた気がしました。

始めて行く成田空港は、外人のシュワデスはいるし、ドキドキでした。一部では、ハプニングもあり、でもそれがあることで、とても強く思い出に残りそうです。とっても楽しい一泊旅行でした。！！

内田 朗子



風の子会の一泊旅行に今回実習生として初めて参加させていただきました。私の部屋からの眺めは最高で、Fの大きな窓から真正面に太平洋を見ることができました。すっかり優雅な気分になってしまいましたが、やはり銚子の夜はそれだけでは許してくれませんでした。宴会座前、マツケンサンバを目の当たりにし、かつてダンサーを踊りきった後、やり過ぎだったかも・・・と後悔していました。しかし、続く歌い手も個人的で濃かった。ハイモニカの長淵剛、ノリノリ郷ひろみと踊って歌って大いに盛り上がりました。やはり風の子会は楽しく盛り上がるためのパワーを惜しまない。「人生楽しまなまきや損！」そんな気持ちで風の子の信念が見えたような気がしました。

加藤 森美

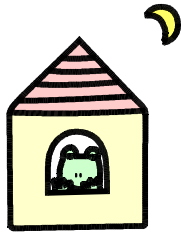


九月六日、七日と一泊二日旅行に同行させていただき、メンバーの方をはじめ、多くの方々が良い思い出を作ることができました。旅行に行くまでの間は不安なことばかりで、二日間乗り切ることができるとか心配でしたが、いざ旅行が始まってみれば、メンバーの方々と一緒に楽しく過ごすことができました。特に印象的であったのは、航空科学博物館で、間近に飛行機の発着陸が見られたことです。そして何より、飛行機が飛び立つところを見て、嬉しそうにされているメンバーの方々の表情を忘れることができません。また、今回の旅行ではバリアフリーについてとても考えさせられました。車椅子を押す立場になり初めて気づいた不便さを数多く見つけることができ、実際にはまだまだバリアフリーが普及されていないことを強く感じました。今後少しずつでも改善され、より快適な旅行が楽しめるようになることを願います。今回の旅行を通し、私自身多くのことを学ぶことができました。お世話になった皆様、どうもありがとうございました。

溝口 史香



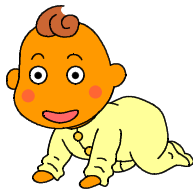
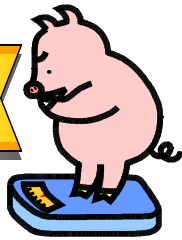
八月二十七日（水）
前後半テーブルゲームをしました。今回もいつものように、トランプと人生ゲームをして楽しみました。トランプでは、定番のブラックジャックや七ならべ、新しいところでは、かつてテレビでもやっていた「ハイ&ロー」もやりました。はじめてやりましたが、とても楽しかったです。



八月十四日（水）
前後半、みんなでクイズをして楽しみました。二班に別れて戦いましたが、なかなか今回も頭を悩ます問題が多く、とても難しかったです。

学習会報告

担当・天海



九月三日の前半は、今年も明治学院のほうから女子学生三人が来てくれたので、みんなで交流会をしました。
前半で自己紹介を兼ねて、質問コーナーで盛り上がりました。後半は、みんなでボウリング大会をしました。ボーリングのピンはペットボトルを使ってやり、ボールはおもちやのゴムボールを使ってやりました。

九月一〇日の前半は、国語の勉強ということ、色々な場面場面での正しい言葉の使いかたを、クイズ形式で勉強しました。
後半は早いもので今日をもって、明治学院の女子生徒三人とはお別れなので、交流会をしました。実習生が僕達にクイズを考えてきてくれて、そのクイズや心理テストをやってくれました。いくら冗談とはいえ、真面目にうけとってしまおう僕なんかは、とても真剣に聞き入ってしまい、身につまされるようなものもありました。
最後には実習生がギターの演奏で「カントリーロード」をやってくれました。
みなさん、ありがとうございました。



今回からテーマは「自分の癖」
 です。一口に「癖」と言っても、
 「癖」というものの捉え方でさ
 え、人それぞ
 れですね… あのさぁ…
 それも一つ
 の「癖」かも知
 れませんね
 (^▽^ケケケ



虫めがね ~自分の癖~



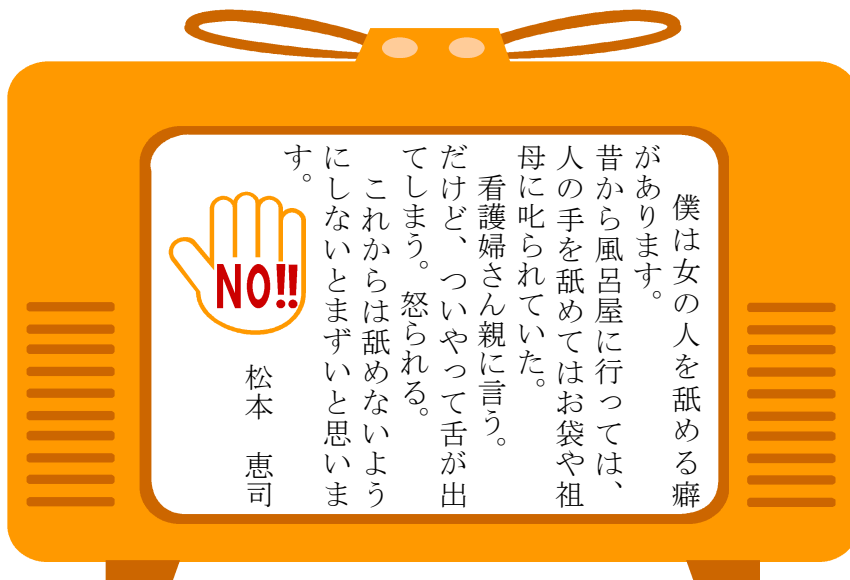
僕の悪い癖はいっぱいありますが、締め切りが迫らないと、
 記事が書けないという、変な癖があります。これはうちの母に似てし
 まったらしいのです。小さい頃、二月の中旬ごろ、税務署から確定申告の書類
 がきます。すると母は、そのまま書類を机の引き出しの中に入れっぱなしにして
 おくのです。いつやるのかな、忘れたのかなと思っていると、ちゃんと覚えていて
 その前の日までには出来上がって、申告漏れなど一度も起こしたことの無い人でした。
 僕が今それに似ているのです。たぶん僕の場合は、書くのがのろいため母みたいには
 うまくはいかないのです。ですから原稿は早く書くように努力しているつもりで
 すが、一番僕の悪い癖は母と同じ土壇場にならないと書かないと言うこと
 です。

太田 稔



「でもね!」だつ
 てさ」が、対話の中
 で、とても多い。相
 手の話す内容を、批
 判するわけでもない
 のに、自然に接続語
 のように使っている。
 相手に対して失礼千
 万だと思っっている。
 私の悪い癖だから、
 今日からでも直して
 いかねければ。
 吉田 久代

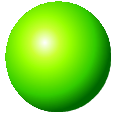
申し訳ございません。



今月のテーマは、癖（クセ）である。クセと言っても良いクセ、悪いクセもあるが、私の悪いクセは、物音にびっくりすること。もう一つ悪いクセがある。自分でも悪いクセだと承知しているのだが、このクセは死ぬまで直らないと思う。そのクセとは、買い物に行つて欲しい物を買つて帰つてからも、早くて二、三日、遅いときは二ヶ月ぐらひは、そのまましておくのである。人様から頂いたお土産もそのとおりで、食べ物だと気が付いて、開けて見ると賞味期限がぎりぎりだったりして、慌てて食べたりすることもあり、悪いクセだと自分でも、直そうと思つてはいるが、なかなか直らないので自分でもあきれている。良いクセと言えるかどうか解らないが、子供の時から、人様の物には絶対に手を触れないのである。もう一つのクセは、服やシャツの第一ボタンを必ずかけることである。



「障害者の理解を深める」 研修やります（予告）

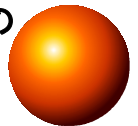


港区からの委託により、11月19日（水）に「障害者の理解を深める」研修を風の子会が実施します。お台場周辺で風の子会のメンバーと共に半日レクリエーションを行います。移動介助や付き添い、食事介助を経験することによって、屋外での車椅子の取り扱い、食事介助、障害者とのコミュニケーションの向上をはかります。また、バリアフリーなど、障害者が地域で生き生きと暮らすために必要な街作りへの理解を目的とします。

申込方法、参加費、時間、場所等の詳細は10月11日以降に各所で配布されるチラシや区の広報誌をご覧ください。

また、風の子会でも10月15日以降、申込受付をいたします。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

よろしくお願いいたします。



（10月15日～）

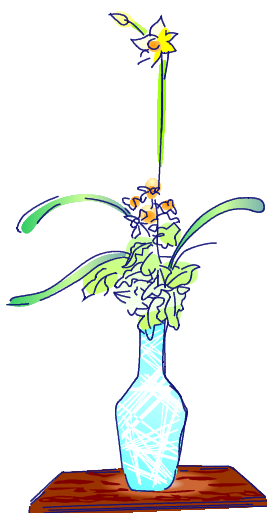
お申し込み・お問い合わせは・・・

風の子会高浜生活実習所

TEL 03-3474-9674

FAX 03-3474-9213

価格改定のお知らせ



日頃より皆様にご愛顧いただいております、風の子会の取扱商品「きょうされんふきん」と「アクアモック専用スポンジ」ですが、材料費・燃料費の高騰により、このたび価格改定の運びとなりました。

何とぞご理解の上、今後とも「きょうされんふきん」「アクアモック専用スポンジ」をお求めいただけますよう、よろしくお願いたします。なお、「アクアモック」石鹼本体は値段据え置きで今後とも販売させていただきます。



きょうされんふきん （丈夫で長持ち。使いやすいふきんです）

1枚入り 200円 → **210円**

3枚入り 550円 → **600円**

5枚入り 900円 → **1000円**

アクアモック （米ぬか100%の洗剤で手も荒れず他の物にも使えます）

アクアモック 300円 → **300円**

専用スポンジ 140円 → **150円**

母の思い出

第十四回

太田 稔

昔はお酒は自由化されていなかったため一般人が買おうとするとオールドパーなど一本八千円から一万円していた物である。

僕は彼と、飲み始めた。彼も僕も当時は若い、しかも今みたいに、実習所もなかった時代である。僕と尾崎紀世彦とは、何と夜を徹して飲んだのである。さてその翌朝が大変だった。僕は午前十一ごろ起きたのだが、全くの二日酔い状態で、窓から差し込む太陽も、何と黄色く見えるのだ。そして頭は割れるほど痛いのだ。僕は妹に聞いてみた。「紀世彦君はどうしてる」妹は、笑いながら言う「お兄ちゃん、尾崎さんだつたら七時半ごろ仕事でTBSまで出かけたわよ」僕は思った。（ずいぶん歌手で大変な仕事なんだろう）と。ところで尾崎紀世彦という人物、見かけは怖そうに見えるが、実はすごく優しい人物なのである。母が、入院していると解った尾崎は「また会う日まで」が、売れ始めると母の入院している病院を、毎日訪れてくれ「貰い物で悪いけれど、お袋さん。花を持ってきたよ。また明日来るからね。」と行つては、大きな花束をおいて帰るといふ毎日が一ヶ月以上も続いたのだが、だんだん尾崎が病院に来られなくなってくる。それは何故かと言え、また会う日まで」の、チャートが、鰻登りに上がってきたのだ。当然仕事はどんどん入ってくる。何しろ聞いたところに寄ると一日にテレビ局を六局も回る忙しさだったらしい。尾崎は僕に謝ってくれた。「稔、お母さんのところに行つてあげられないで、ご免ね」僕は嬉しくなつて言う。「母はそう思ってくれるだけで嬉しいと思うよ」この辺で、尾崎のことは、いったんうち切つて、「青い芝の会」のことを書いてみよう。「青い芝の会」という会は、身障者の会としては歴史は割にある。昭和三十二、三年頃に、脳性マヒ専門の会が出来たのだ。とはいふものの「風の子会」が発足したときのように（いやもうちよつと貧乏だったかも知れない）お寺の二階をその御住職の御好意によりただでお借りしていたのだ。今ならば田町の障害者福祉会館が借りられるが、昔はそんな施設は全くない時代である。そんな時代に「青い芝の会」は、曲がりなりにもその御住職のお陰で本部がもてたのである。そんな小さな会の中でも僕は役員になりたかつたのである。「青い芝の会」は、東京を五つに分けていた。城東、城南、城西、城北、中央、と言う具合である。

僕が仲良くなったのは、城西支部の中村さんと、石橋さんという人である。友達になつたきつかけは、母が電車の中で、中村さんに席を譲つてあげたことから始まった。母は僕のことを思い出し、彼の前で涙を流したのである。すると彼は、ポケットから紙切れのような物を取り出して母に手渡した。それは「青い芝の会」の会報である。ちょうどその時、母は、筆記用具を持ち合わせていたのである、彼女は家の住所と電話番号を書いて彼に手渡した。それから何日か過ぎたある日の午後、玄関のチャイムがなった。母が出てみると中村さんだった。ところが僕はそれまで家族としかしゃべつたことがなく、特に身障者の友達がいなかったため中村さんが初めてだった。母が部屋に通してくれたが、話すことが何もなくお見合いみたいにただ黙っているだけ。困つたのは母である。中村さんを呼んだ方がいいが、一言も口を利かずただ黙っていたのだから。彼は仕方なく母と、世間話をして帰つていった。

次回に続く

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

～ 夏の特別編 思ひ出ラブソディ（つづき） ～

入り口の急な坂を上がり、A棟前の駐車場に車を停めて学内を見て回る。学生時代に散々利用していた食堂が視界に入ると、胸にぐっとくるものを感じた。食堂から見える運動場や学部棟、図書館など所々に改装はされているものの、大学そのものが醸し出す空気や雰囲気はあの頃と全く変わらなかった。

C棟やD棟、池之端なども見て回りたかったが、あまり時間がなかったのでそろそろ学内から出ることにした。ところでこの大学は夏季休暇中でも自由に学内に入れる。他の大学がどうかは知らないが、この大学は自由がモットーであり、いつでも気楽に学内を回れる“開かれた大学”なのだ。まあ、それは見方によっては“開きっぱなしの大学”といえなくもないが。

坂を下り大学の外周を道なりにまわると寮の入り口がある。道なりに見える家々も、入り口から見える寮のシルエットも、あの頃と全く変わらない。まるでこのあたりだけは10年前の時点で時間が止まってしまったかのように感じられた。

寮の玄関前で車を停める。車のドアを開けてもたれながら立ち、寮を見上げる。ボロボロの階段、食堂の窓、給湯室、寮生達の部屋の窓、窓、窓・・・どれもこれもあの頃のままだ。夏休み中なので寮生がいる気配はあまりなく、それがノスタルジックな気分を助長させた。

階段を上がって玄関を見る。僕がいた頃と変わらずのくたびれた下駄箱があり、思わず苦笑してしまう。扉を開けると食堂が視界に入る。テーブル、やぶれかけのソファ、自動販売機、冷蔵庫、いまだにアナログテレビ・・・ここは、あの頃の空気で溢れかえっている。目頭が潤んできそうになり必死に堪えた。

「何か用ですか？」階上から降りてきたらしい寮生が僕を見かけてそう尋ねる。不審者とでも思ったのか、やや訝しげな顔つきだ。「おう、俺、昔ここに住んでたんだ。懐かしくてついふらっと入ってきちゃった」「そうですか・・・」「寮は相変わらずか？」「はい。まあ、そうですね・・・」そんなやりとりをして、彼とは別れた。

2階にも上がってみようと思ったが、何となく気後れして玄関を離れた。後ろ髪を引かれる思いを断ち切り、車に乗って寮を出た。寮での生活は、僕という人間にとってある意味で原点とも言える場所だ。あの時代があつてこそ、今の僕がいる。あの時の経験があつてこそ、今、僕はこうして立ってられる。道に迷って立ち止まりそうになったときも、寮での僕が道を指し示してくれる。

だから、僕は今もこうして頑張れるのだ。

次第に離れていく寮の建物を車から眺めながら、そう思った。

～ 本編にもどる ～

☆風の子商品はいかがですか☆

いつも風の子商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
今年もカレンダーと一緒に風の子商品を紹介します。
是非、カレンダーと併せてご注文下さい。

産地直送の日本茶

（静岡から仕入れている美味しいお茶です）

特選やぶきた茶（緑茶）	（100g）	1000円
やぶきた茶（緑茶）	（200g）	1200円
ほうじ茶	（200g）	400円
玄米茶	（150g）	300円



きょうされんふきん

（丈夫で長持ち。使いやすいふきんです）



1枚入り	210円
3枚入り	600円
5枚入り	1000円

アクアモック

（米ぬか100%の洗剤で手も荒れず他の物にも使えます）

アクアモック	300円
専用スポンジ	150円



はがき作ります

すばやい製作・納品は出来ませんが、
お客様のご要望に出来るだけお答えし、
また提案させていただくことで、ひとつ
ひとつ心のこもったはがき作りを心がけて
います。ご注文お待ちしております。

モノクロ印刷	1000円～
カラー印刷	1500円～



カレンダー、その他の商品のお申し込み・お問い合わせは

〒108-0075

港区港南1-1-27 カナルサイド高浜302

NPO法人風の子会

電話 03-5479-7155 FAX 03-5479-0180

2009年

新春カレンダー販売のお知らせ

最近少しずつ秋風が吹いて、朝夕と涼しくなって参りました。そして今年もまた、来年のカレンダーの販売の時期になりました。来年の2008年新春カレンダーもバラエティーに富んでいます。

きょうされんで毎年開かれているカレンダー作品コンクールで入賞した作品を掲載した「はたらく仲間のうた」カレンダーの他、著名な作家の方々のきょうされんオリジナルカレンダー、アイデア溢れる面白カレンダー、おなじみ人気のキャラクター等のカレンダー等、多数取り揃えてあります。どうぞチラシをご覧になり、FAX 又は電話でご注文下さい。宜しくお願いします。

私達風の子会は、共同作業所全国連絡会（きょうされん）に加盟している港区の障害を持つ人達の作業所です。この販売活動は、共作連や作業所の活動資金や障害のある人達の収入を得る為の活動です。是非、ご協力の程、宜しくお願い致します。

注文方法

※注文方法は以下の二通りあります。

- 風の子会へ電話又はFAXで注文。
- 風の子会へ注文用紙を持ってくる。

* ・ ・ 商品のお届けは、ご注文締め切り後、約10日前後とさせていただきます。

* ・ ・ 港区内は、配達致します。
配達の際は、代金引換となります。

* ・ ・ 郵送の際はお手数ですが、同封する振り込み用紙にてお近くの郵便局にてお振り込み下さい（手数料は無料です）。
お買い上げ金額が5000円以下の際は、送料をご負担願います。

締め切り日

第一次締め切り 11月5日（水）

第二次締め切り 11月22日（土）

北京オリンピック

印象に残った競技

BEST3



1位 水泳（北島康介選手の100m、200m）

北島康介選手の金メダルの「ちょー気持ちいい」、
「何も言えねえー」はみんなで見っていた為か、堂々の1位でした。



2位 女子ソフトボール

上野選手の頑張りにみんな感動しました。熱投 413球！！
女子ソフト金メダルが2位でした。



3位 柔道レスリング

柔道のルールも変わり、日本選手も苦戦を強いられましたが、
金メダルをとれた瞬間がやはり人気でした。
レスリングの4人(吉田選手、伊調千春選手、馨選手、浜口選手)
メダルをとれたので、頑張っている姿に共鳴したので、第3位。

その他:開幕式

一印象に残っているのはやはり、北島(特に個人種目)が金メダルを取ったことです。他にはソフトで、上野投手が何百球と投げたことが凄く思いました。残念だったのは、全体的に男子の競技が弱かったことです。

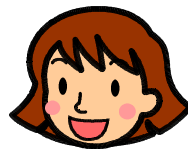


アメリカが強かった。
鳥の巣スタジアムの開幕式・閉幕式の演出が向こうの監督がやっていて、凄く感動した。日本全体で、もう少し金メダルが欲しかった。柔道女子やフェンシングが良かった。

北島康介が二〇〇mを一生懸命頑張って凄かった。伊調馨が金メダルで凄かった。松田丈志は銅メダルで凄かった。上野由岐子が金メダルを取った。

北島康介が二回優勝して嬉しかった。柔道の谷が今度は三位で残念だった。野球は四位で残念だったから、また今度頑張って欲しい。

浜口京子が良かった。勝ったときに家族と抱き合ったのが良かった。



北島康介が頑張ったのが凄かった。女子ソフトも凄かった。開会式は迫力あって良かったけど、花火がちよつとアレだった。

夕会便り

8月2日

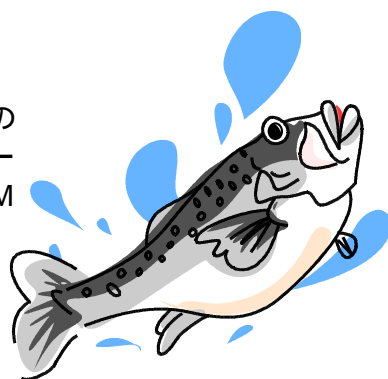
【旅行のキャッチフレーズについて】

9月6日、7日に行われる風の子会の旅行は千葉県
の銚子へ行きますが、旅行に使うパンフのキャッチフレーズ
をみんなで考えました。色々な案が出されましたがM
君の「行こうよ銚子みんなで成田」が選ばれました。

【風の子の記念パーティについて】

11月の15日に行われる風の子会30周年記念に、
何をしようかをみんなで話し合いました。

太田 圭子



寄附のお礼

（八月九日～九月十三日）

賛助会にご賛同下さった方

小黒栄信様 嶋田駿太郎様

市川美江様 光悠ディースービス様

飯塚潤一様 近岡初枝様

ご寄付を下さった方

山田靖子様

皆様ありがとうございました



みなと区民まつりボランティアのお願い

10月11日（土）・12日（日）の両日、恒例のみなと区民まつりがあります！今回も風の子会は増上寺黒門内の福祉部会に出店します。自主製品、来年のカレンダー、バザー品・・・是非遊びに来てください。

もしこの会報がお手元に届くとき、まだ区民まつりの開催前でしたら、ボランティアも大募集していますので私達と一緒に区民まつりを楽しみませんか？

車いすの移動介助や食事介助、販売のお手伝いをお願いします。交通費・お弁当は支給いたします。

初心者でもやる気と元気があれば大歓迎ですので、興味がある方はお気軽にお問い合わせ下さい。よろしく願いいたします。



皆さん、今年の夏はどう過ごしましたか。僕は、両親と一緒に電車に乗って、箱根旅行に行ってきました。一日目は、小田原周辺を散策をしました。小田原城や駅周辺をブラブラしました。その夜は箱根湯本のところにある、富士屋ホテルに泊まりました。僕は普段から、品川駅前にあるパシフィックホテルや八芳園によく行って、のんびりと過ごしています。二

て下さい。上野動物園と近いこともあり、動物の剥製は数も多く迫力があります。僕が一番興味を持ったのは、地球上の生物すべてが、何らかの関わり合いを持って互いに共存していると言うことです。そのことがとてもよくわかる博物館で、遊び感覚でも十分楽しいところですよ。人間にとつて害はあっても利をもたらすことはないと思われ、害虫であつても、ちゃんと存在理由があることには本当に驚かされます。是非是非行って下さい。



佐久間 庸



皆さんの国立上野の動物園へ行ったことありますか？僕は今年機会があつて行くことができました。面白いです。是非行って見

スケジュール

9月24日（水） 運営委員会

今月の予定

- 10月11日（土）～12日（日）
- ★☆☆みなと区民まつり☆☆☆
- 10月14日（火） 振替休日
- 10月28日（火） 総務部会

♪ 来月の予定 ♪

- 11月 2日（日）
- ☆☆ヒューマンぷらざまつり☆☆
- 11月 4日（火） 振替休日



未だ予定ですが、今度十月に養護学校OB会が試して開かれます。『ハンドサッカー』の大会が試して開かれます。未だ詳細も分からな

日目は、箱根周辺をブラブラしました。ショッピングをしたりお土産を買いに行きました。一日間を通しての感想は、ちよつとしたハプニングがありました。ゆつたりと過ごさせて良かったなあと感じました。

タナツキ



ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~ 定価40円 ~

編集者
 天海 隆
 太田 恵子
 小野 圭子
 松本 聡
 田中 隆
 右藤 彦
 吉田 史郎
 和栗 頭
 幸木 太郎

編集人：【高浜生活実習所】
 生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
 東京都世田谷区砦6-26-21

